

社会福祉法人 博愛 障がい者支援施設 仁万の里

令和7年度 第1回地域連携推進会議議事録

1. 開催日時 令和8年1月23日（金曜日）午後10時00分～午後12時00分
2. 開催場所 仁万の里（機能訓練室）
3. 出席者

出席構成員 8（10名） サービス利用当事者 保護者代表 地域代表
福祉知見者 経営知見者 行政

事業者 7名 管理者 管理職員 サービス管理責任者 支援職員

4. 会議内容

仁万の里館内視察し意見交換会

地域代表 ユニット内をはじめ明るい、きもちのよい空間で次は児童と一緒に訪問させていただきたい。

福祉知見者 居室は綺麗な印象で住みやすそうな感じを受けたが、隙間テープが貼付されている箇所がありしていて異食に繋がらないか、また廊下の床材がめくれているのではないかと心配になった。

日中活動事業所にて訪問販売の催しがあった際、パンを売りに来る業者があり利用者が購入して施設やグループホームへ持ち帰ると消費期限の記載がされていないから捨てられたとかというケースを聴いており、それからは相互連絡をするとなった。購入品の確認を逐一行うのは常識的に気が進まない。過度な確認になると、逆に隠す行動となりかえって事故が起こりやすいことに発展しないか。

また朝、施設でトラブルがあり不穏な状態で通所されると一日中ひきづる、もう少し気持ちよく送り出してもらえないか。

事業者 購入に関することでは食事制限等のある方が単独で夜中に食べる、また眠薬等を服用により、誤嚥による事故に繋がる可能性がある。安全面を最優先として預かるという対応をしている。

購入したものをすべて食べたい意向は理解できるが、給食の時間帯により影響のない量の提案をするが注意されたという受け止め方になることがある。支援者の伝え方にも課題があるだろうから研修実施、接遇面のスキルを上げていく努力が必要と感じている。

朝のトラブルについては、事業所に限らず起こりえること、なるべく気持ちよく送り出すようにしていく。

福祉知見者 以前は近所の店舗に自由に買物に出かけていた。事情はあると思うが方法について検討できないか。

事業者 身体的に単独での店舗までの往来がむずかしくなっているのが現状である。

サービス利用当事者 自分は職員と一緒に買物に行く。

サービス利用当事者 私も職員と一緒にいく。

事業者 定期的に買物支援の取り組みしている。余暇支援が可能となる土日の職員の勤務体制により対応ができないのが現状。以前は1人の職員が2～3人対応していたが、現在はマンツーマンで対応。週に3、4人程度支援する計画はしている。

土日の勤務体制については、1ユニットに1名の職員を配置が限度であり、平日の生活介護活動で対応することもある。個別活動を充実させることを事業目標としているが職員不足によりかなわない。

買物に行けない代わりに、パン屋でまとめて購入し施設内で買物の雰囲気味わってもらえるような取り組みを実施している。

事業者 人材不足が顕著であるのはどこの事業者の課題であると思われる。

経営者 施設内は明るく広く住みやすい印象、人員が不足しているとの話であるが実際どうなのか、自施設では昨年度8月に、ミャンマーから外国人労働者2人、さらに今年の10月に1人と現在近所の教員住宅を借りている、また厨房においても人員不足であり、仁万の里はどうなのか伺いたい。

事業者 人員配置基準上は満たしているが、夜勤者配置を伴うため不足しているのが現状。将来の入居者のサービス移行の動向も踏まえて、外国人人材採用も含めて考えていく必要がある。厨房については、調理業務を日清に委託しており現状は稼働できているが、継続していけるかは現段階では不透明。

事業者 生活介護事業における人員配置基準加算において、上から2番に高い1.7:1を適用しているが夜勤者の配置を伴うため充分ではないのが現状。

国の指針では地域移行を示しており、全国の入所施設の約56%が赤字運営となっているのが現状であり、なかなか仁万の里だけでは解決できない部分があります。国の基本報酬体制を改善されることも望みながら、入居者の皆さんが安心して楽しく暮らせることができるようサービスを充実させることが使命だと考えている。

保護者 うちの子どもは、小さいころから急に泣き出したり、壁や床に頭を打ち付けたりと理由がわからない。職員の皆さんは勉強されていると思うが、ネガティブなところがたくさんあり大変だと思う。親の立場からは、ある程度はしょうがないと思うが、預かっている立場の職員さんはショックだったりほんとにしんどい時があるのではないかと察する。世界基準の地域移行というのは初めて知り、以前グループホームに入居したことがあるが、飛び出したりして大変だったことがある。地域生活が可能ではないかという気持ちもあったが、養護学校や保護者の知識に差があり、職員さんは“大丈夫ですよ”など声をかけて下さるが、実際は想像を絶するくらい大変なんだろうと思う。今となっては入所に入ることができたことは私にとってはすごくありがたいと思っている。

事業者 職員の何のところまでお心づかいしていただき誠にありがたいことですが、現

職の方で悩みなどあるか。

事業者 どの職員も良くなるために生活介護や就労 B 各会議において常にみんなで話し合っって課題を共有して支援方法を検討している。

事業者 保護者様とのつながりが希薄になってきているところだが保護者会について説明依頼。

事業者 新規利用の方で保護者会入会のご案内をさせていただいている。あらためて、ご説明をさせていただき、さらに保護者、事業所間の繋がりを深められるきっかけとなればと思っているので是非ご入会いただきたい。

保護者 関わりが持てる場面が少ないと感じていたので・・・

福祉知見者 役員さんの成り手がなかなかない。私は保護者会の監査と手をつなぐ育成会の事務局を務めているが、若い保護者と年輩のニーズが違っていて、ひとつの育成会の中で世代間の違いがありまとめることは難しいと感じている。

障がいのある方が生きやすい世の中になるよう、私は携わっているつもりだが、国は地域移行というが、なぜグループホームや訪問系の基本報酬を下げるのか、一人暮らしがしたいひともいるし、会議の場を設けて課題を協議することが大切だと常に思っている。

事業者 業界団体から話があったのが、単独よりも行政や連合団体などにより上にあげていくこと、矛盾もあるなかで地域移行について誰が主導して推進するのか、訴えていく必要があるのではないかと考える。

行政 職員の確保はできていることは聴いている。離職防止が大切であるがどんな取り組みをされているのか。外国人材については、現在の日本は円安で儲からないため日本に来日する方向には向いてなく、ヨーロッパなどとなっている。日本は早いうちに手を打たないと確保は難しくなるのではないかと考える。

事業者 離職防止対策については業務の効率化を目指していくことが方法のひとつ、また ICT 導入をどれだけ進めることができるかが必要。上からだけではなく下からの提案も含めて働きやすい環境に変えていく、とくに記録類の ICT 化は他産業に比べて遅れていると感じるため、職員にはそれが見えるような形にしていきたい。働き方についても選択できるような形にできるようにしていきたい。

福祉知見者 盆踊りや里まつりなどお声がけいただき参加させていただいている。盆踊りは猛暑などを考慮して屋内開催に形態を変えられて、園児としても参加しやすいと考える。手作りの大きな鳥居やきれいな花の咲いたプランターが置いてあり勉強になった。トイレ内にハイターが手の届くところに置いてあったので誤飲等につながったりしないかなと気になった。人員確保ということでは保育所も同等な課題であり、職員が休まれたとき無しでされるのか、どなたか応援にはいるのか教えてほしい。

事業者 休まれると支援が回らない、ユニットで職員が移動し合いながらやりくりしたり、管理職が現場にはいったりして対応している。利用者の方には本当に迷惑をかけてしまって申し訳ないと思っている。